



文化財講演会 縄文カレンダーの再構築を目指して —下布田遺跡を素材に—

令和7年10月4日(土) 北條 芳隆 教授 (東海大学)

縄文文化はどのような暦を生み出していたのでしょうか。弥生文化以降の稲作農事暦や太陰太陽暦(旧暦)との違いや共通点を探りつつ、下布田遺跡を素材に縄文自然暦の復元を試みます。
「キーワードは多角的狩猟採集社会です」



調布市文化会館たづくりから見た富士山

時間 午後2時～4時
会場 調布市市民プラザあくろす ホール1・2
申込 9月8日(月)より電話・窓口・申し込みフォームより受付
(定員になり次第, 受付終了)



↑申し込みはこちらから

調布市郷土博物館

〒182-0026 東京都調布市小島町3-26-2
電話: 042-481-7656
FAX: 042-481-7655



調布市では、ワークショップを開催し市民のみなさんと史跡整備を進めてきました。

カレンダーのない時代、縄文人たちは周囲の山々を目印に太陽や星の運行を観察して季節の移り変わりを感じていました。ワークショップでは、縄文のくらしの復元として、二至二分（夏至・冬至・春分・秋分）の日の入り位置を観察し、「縄文カレンダー下布田版」の作成に取り組んできました。

文化財講演会では、考古天文学の第一人者・北條芳隆先生から考古天文学の意義や最前線について解説いただくとともに、今から約2,800年前に生きた下布田ムラの縄文人の「多角的狩猟採集者社会」の実態に迫ります。

ほかに、市民ワークショップの取り組みを紹介し、これまでの成果と「縄文カレンダー下布田版」の発表を行います！

【スケジュール】

- 14:00—14:05(5分) 主催者挨拶
- 14:05—14:10(5分) ワークショップ概要と取組紹介（調布市郷土博物館）
- 14:10—14:30(20分) 天体観測から見た下布田遺跡(史跡ボランティア)
- 14:30—16:00(90分) 縄文カレンダーの再構築を目指して
—下布田遺跡を素材に—（北條教授）
- 16:00—16:05（5分） 質疑応答



石棒集積遺構



方形配石遺構